

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援 にじのかけら		公表日		2026年11月1日					
				利用児童数		4		回収数		4	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応		
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3			1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3			1					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3			1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3			1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2			2			子どもたちの興味関心にこたえられるよう子供たちの意見も聞きながら日々プログラムを検討しています。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3			1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3			1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			3			外部の保護者向け勉強会等のイベントのお知らせを配布して周知しています。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3			1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			3					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			2			相談のお申し入れがあった際には極力迅速に対応いたしますので、気兼ねなくご連絡ください。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			3		定期的な避難訓練に加え、災害食に触れる機会を作るなど災害を身近な物としてとらえられるよう支援しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			2		緊急で連絡をするほどの大ケガはまだないが、怪我をした場合は迅速に保護者に連絡・報告をします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービス にじのかけら				公表日	2026年11月1日	
		利用児童数				41	回収数	38
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	2			身体を動かせるスペースがもっと広いと なおよいと感じました。	人数が多めの日は少し狭く感じますが、 お休みの日などは天気の良い日は極力公園 へ行って、子どもたちに元気いっぱい 身体を動かしてもらいたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	3		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	1			感染症の流行時のみでなく通年でタオル の供用を避け使い捨てペーパータオルを 使用した方がいいと思う。	トイレの机タオルをかけていますが、ト イレの後は洗面所での手洗いを促し、 ペーパータオル使用にて清潔を保って います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	36	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	36	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	37			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	36	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	34	2		2	長期休みや祝日の活動は普段できない 色々な遊びやお出かけのプログラムがあ る為学びのある活動になっていると思 います。	子どもたちの興味関心にこたえられるよ う子供たちの意見も聞きながら日々プロ グラムを検討しています。 にじの活動を通して少しでも季節を感じ てもらえるよう工夫していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	14	2	4	18		
保 護 者 へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	38					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	38					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	24	2	4	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	35	1	1	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	1		1	入所してまだ半年も経っていないので定期 で面談の機会があるのか分かりませ んが、私的都合で事業所に保護者迎え の際は最初に比べて成長や変化のあつた所 を職員さんとの会話の中で教えて頂 いています。	定期的な面談と、送迎時にお会いでき た時にはにじの様子や変化をお伝えし ていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1		1	温かく見守っていただき感謝の気持ち でいっぱいです	今後ともよろしくお願いいたします。

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	2	5	9	夏祭りイベントを毎年楽しみにしています。	現在1組はご家族で参加していただけるよう工夫して夏祭りを開催しています。今後は2組も検討していく予定です。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	2		5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1		4		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1		8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1	1	13		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1		5		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	38					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	2		1	にじさんの日とわかると嬉しそうです	今後とも楽しく通っていただけるよう職員一同しっかり支援させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	38				いつもありがとうございます。ひきつづきよろしくお願いします。	こちらこそ今後ともよろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス にじのかけら		
○保護者評価実施期間	2026年 6月 26日 ～ 2026年 7月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41 (回答者数)	38
○従業者評価実施期間	2026年 6月 26日 ～ 2026年 8月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	31 (回答者数)	23
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないよう、職員全員で内容を工夫している。 季節を感じられるプログラムや、外出レクリエーションなど様々な経験が出来るよう工夫している。	ご家族では中々難しい電車でのお出かけや、お買い物レクリエーション、お料理体験、工場見学など、長期休暇を使い色々な所にお出かけしている。外出レクリエーションを通して、公共の場でのルールを学ぶ機会を多く設けている。 また、季節を感じられる工作や遊びを通して伝統的な行事について触れる機会を設けている。	子ども達の興味や関心に関する事を日ごろから模索し、また保護者からの要望なども面談時に確認し、子ども達が将来必要とするであろう知識や常識が楽しく学べる活動や外出レクリエーションを取り入れていきたい。
2	子どもたちが安心感を感じながら、楽しく事業所に通う事ができている	子どもたちが安心して過ごせる空間・環境を提供できるように配慮し、一人一人の個性や特性に合わせて対応するように努めている。 一人一人の興味関心にも配慮しながら、自分の意思でやることを決めること、自分の意見をきちんと伝えられること、に重点をおいて支援している。	安心して過ごせる環境であり続けるために、子どもたちと職員の関係性の構築にさらに努めていきたい。 子どもたちの興味や関心は常に変化していくので、その変化を見逃さないように努める。 子どもたちのやりたい気持ちにも応えられるよう、職員が提供する活動だけでなく、子どもたちの意見にも極力耳を傾

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供の充実	ペアレントトレーニングを行える専門知識を持つ職員が少ない。外部研修や研修を行う事が出来る専門機関との関係性がまだ十分に構築できていない。 また、研修などの情報提供は行うことは可能だが、保護者がどのような内容の研修を必要としているか、また、そもそもそのような機会を必要としているかを把握する事が難しい。	ペアレントトレーニングを行える人材の育成が必要。 内部の職員以外にも研修を行える機関との関係性を強化していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない	営業日が月～金と基本的に平日の授業後なので、地域の行事などに参加する機会が少ない。	長期休暇などを利用して地域の施設のイベントへの参加や児童館、地域の公園などの利用を増やし、地域の他のこどもとの交流を図っていきたい。

※多機能事業所であり、同時時間帯に児童発達支援・放課後等デイサービスを同じ職員が勤務している為、合算した形式でアンケート調査を実施した。

公表 事業所における自己評価結果

※多機能事業所であり、同時時間帯に児童発達支援・放課後等デイサービスを同じ職員が勤務している為、合算した形式でアンケート調査を実施した。

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス にじのかけら		公表日		令和8年11月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など	実施内容及び計画内容
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22	0	1		人数が多い時は1Fと2Fで分散
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	0	1		十分に配置されている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	2	0	バリアフリーな環境ではないが、注意点等はポスターや口頭注意にて実施している。	視覚で情報を読み取れるよう、利用児向けに貼り紙等をしている。(例)階段は1人で下りないなど
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	23	0	0		クールダウンできる様にしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	2	0		状況に応じ、柔軟に対応
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22	1	0		HPで公開している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	0	0		HPで公開している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	1	0		定期的なミーティング、個別対応等をしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	4	3		必要に応じて実施を検討
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	1	0	外部研修への参加を奨励している。	入職時に研修を行い、定期的に勉強会を行うようにしている
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	0	0		5領域に則ったプログラムをHPに掲載。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	23	0	0		支援計画書作成前の面談時にアセスメントをし、計画書を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	0	0		支援計画書【案】をもとに担当者会議を複数の職員で行い、その内容に沿って支援を行っている。支援計画書は職員が閲覧しやすい場所に保管している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23	0	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	23	0	0		独自のアセスメントチェックシートを用いている
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	1	0		ガイドラインに沿った内容に個々の子どもに必要な支援内容を具体的に設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	23	0	0	利用者にもどんなことに興味があるかを日々の支援の中で 意見を聞き可能な限り取り入	複数のスタッフで相談している

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23	0	0	考えを同じくできる隊員へハ れていけるように協議してい る。	季節を感じられる内容を取り入れている為固 定化はしていない
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	23	0	0		集団活動とは別に自由遊びの時間に遊びの中 に個別療育を取り入れている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23	0	0	支援日誌を必ず目を通すよう に日々職員へ通達。	日々行っているが、非常勤職員など、出 勤時間の関係で打合せが出来ない場合は 支援日誌等で状況が把握できるようにな っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	1	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	23	0	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	0	0	極力多くの職員にモニタリ ングに参加してもらう	定期的にモニタリング会議を実施してい る。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	23	0	0		行っている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	23	0	0		自由遊びの時間には個々の決定によってやり たい遊びの選択ができるようになっている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	0	0		基本的には児発管が出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	3	0		必要に応じて相談員、他事業所、学校と 連携を取っている。
	28	【児発】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョ ン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認 定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等 の情報共有と相互理解を図っているか。	21	2	0	移行先等に対する情報収集 に努める。	他事業所との併用や、他のサービス等へ の移行も面談時にお話ししている。
	29	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	23	0	0		保護者を通じて行事予定や下校時刻の確認は している。その他必要に応じて管理者から連 絡をして情報共有に努めている。
	30	【児発】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との 間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	2	0	特に入学したての数か月は 学級担任と密に連携してい きたい。	相談員を通じて情報共有をしている。
	31	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	22	1	0	児発利用者が在籍していな いため	相談員を通じて情報共有をしている。
	32	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	12	7	4		相談員を通じて情報共有をしている。
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	9	3		当地区では、相談支援事業所がその役割 を担っているため、そちらと共有してい る
	34	児童発達では保育所や認定こども園、幼稚園との交流、放デイでは 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	20	3	0	休日など地域の児童館で地 域の子ども達と交流する機 会がある	2組（低学年児中心）では休日を利用し 行っている
	35	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	16	5	2		担当者が参加している
	36	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	23	0	0	連絡帳の活用も促してい る。	責任者がLINE等を使用し、常に共有でき ている
	37	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	16	4	3		チラシ配布等で情報提供をしている
	38	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	23	0	0		利用開始前、利用開始時に行っている

保護者への説明等	39	児童発達支援計画書を作成する際や、放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	22	0	1		支援計画作成前に面談をしている。
	40	「児童発達支援計画」「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	23	0	0		面談時に支援計画の草案を見ながら支援内容の説明をしたうえで支援計画書に署名を頂いている。
	41	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23	0	0	児発管にて行っている	半年毎の定期的な面談に加え、必要場合は随時面談の機会を設け支援している。
	42	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	14	5	4		家族で参加できる夏まつりの解放（1組）。家族で参加できる地域のサッカーチームのイベントに招待。
	43	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	0	1		相談の申し入れがあった場合、もしくは必要性を感じた場合は迅速に面談を設定している。
	44	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21	1	1	管理者が行っている	おたよりを発行している
	45	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22	0	1		行っている
	46	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22	0	1		行っている
	47	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	9	2		地域の方を招待できるようなイベントはないが、地域の行事には参加している。
非常時等の対応	48	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	1	1		HPに掲載
	49	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	0	1		行っている
	50	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	22	0	1		行っている
	51	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	1	5		医師の指示所が出ているほどのアレルギーの対象者がいない。
	52	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	3	4		行っている
	53	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	1	4		行っている
	54	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	22	0	1		行っている